

2023年5月

2022年度 学校関係者評価 集計結果概要

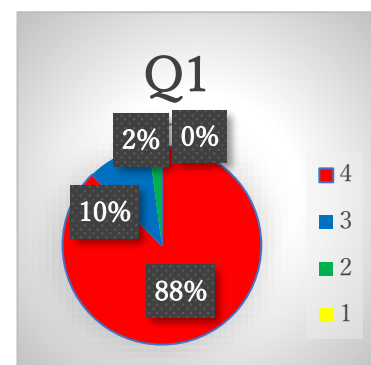
慶應義塾普通部

2022年度保護者アンケートは、年度末の2023年3月に無記名でGoogleフォームを利用して実施した。回答者数は、1年237名中138名（回収率58.2%）、2年236名中133名（回収率56.4%）、3年237名中117名（回収率49.4%）、合計710名中388名（回収率54.6%）であった。

9つの質問に対して、4つの評価（4＝そう思う 3＝ややそう思う 2＝あまりそう思わない 1＝そう思わない）で回答を求めた。またそれぞれの質問に対してのコメントも任意で求めた。以下の表はそれぞれの設問に対する評価を割合（%）で示したものである。表右端の「肯定意見」とは、評価4および評価3を合計した数値である。

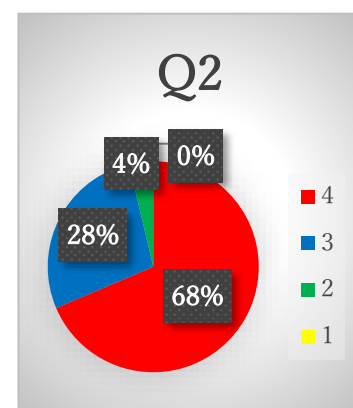
【質問1】 ご子息を普通部に入学させて良かったと思いますか。

	4	3	2	1	肯定意見
1年生	92.8	5.8	1.4	0.0	98.6
2年生	83.5	12.0	4.5	0.0	95.5
3年生	86.3	13.7	0.0	0.0	100.0
全体	87.6	10.3	2.1	0.0	97.9



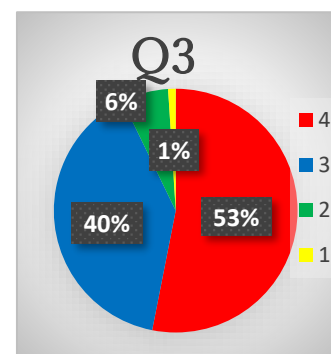
【質問2】 普通部は、生徒の学びを深めることに積極的に取り組んでいると思いますか。

	4	3	2	1	肯定意見
1年生	69.6	26.8	3.6	0.0	96.4
2年生	63.2	32.3	3.8	0.8	95.5
3年生	69.2	24.8	6.0	0.0	94.0
全体	67.3	28.1	4.4	0.3	95.4



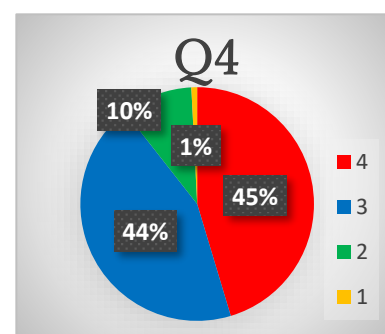
【質問3】 普通部では、すべての教育活動において、生徒一人ひとりを大切にする姿勢で指導がされていると思いますか。

	4	3	2	1	肯定意見
1年生	58.0	38.4	2.9	0.7	96.4
2年生	50.4	42.1	6.8	0.8	92.5
3年生	50.4	38.5	9.4	1.7	88.9
全体	53.1	39.7	6.2	1.0	92.8



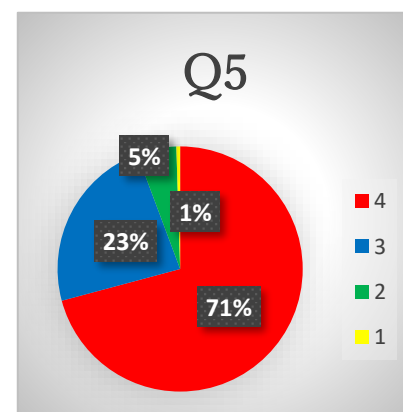
【質問4】 普通部では、生徒の興味・関心に応じた授業が適切に行われていると思いますか。

	4	3	2	1	肯定意見
1年生	42.8	50.7	5.8	0.7	93.5
2年生	44.4	45.1	9.0	1.5	89.5
3年生	49.6	35.0	15.4	0.0	84.6
全体	45.4	44.1	9.8	0.8	89.5



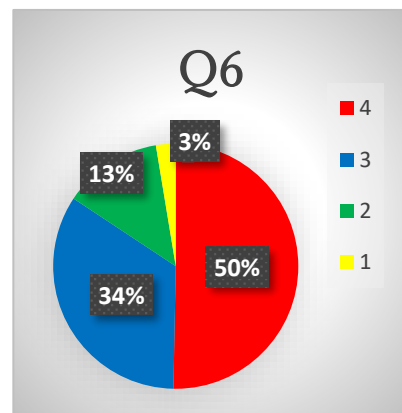
【質問5】 普通部では、特色のある学校行事が行われていると思いますか。

	4	3	2	1	肯定意見
1年生	79.0	18.1	2.9	0.0	97.1
2年生	66.2	27.8	5.3	0.8	94.0
3年生	66.7	24.8	7.7	0.9	91.5
全体	70.9	23.5	5.2	0.5	94.4



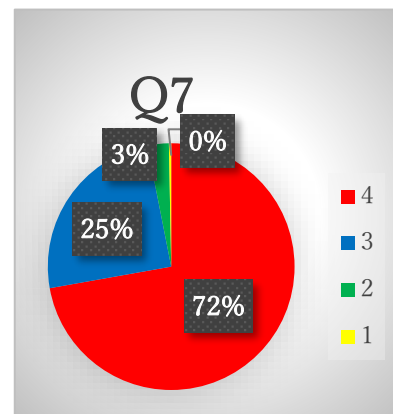
【質問6】 普通部では、部会活動は適切な指導の下で行われていると思いますか。

	4	3	2	1	肯定意見
1年生	57.2	31.9	8.0	2.9	89.1
2年生	42.1	40.6	15.8	1.5	82.7
3年生	56.3	29.1	16.2	3.4	85.4
全体	50.3	34.0	13.1	2.6	84.3



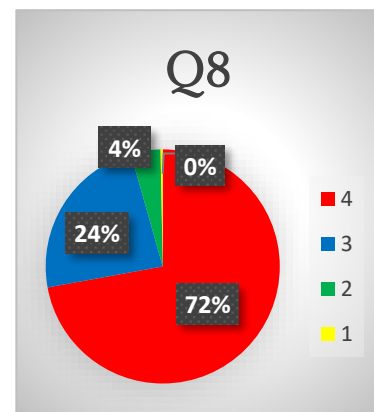
【質問7】 普通部では、生徒の安全管理が適切に行われていると思いますか。

	4	3	2	1	肯定意見
1年生	71.7	24.6	2.9	0.7	96.3
2年生	67.7	28.6	3.8	0.0	96.3
3年生	77.8	20.5	1.7	0.0	98.3
全体	72.2	24.7	2.8	0.3	96.9



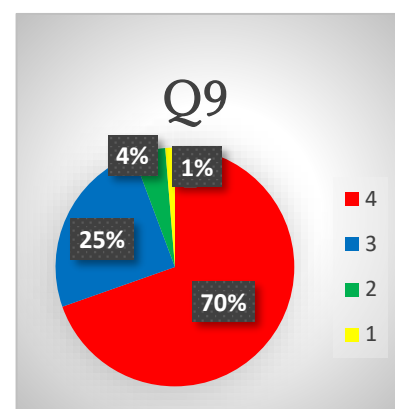
【質問8】 普通部は、保護者との面談や相談に適切に応じていると思いますか。

	4	3	2	1	肯定意見
1年生	80.4	16.7	2.9	0.0	97.1
2年生	63.9	30.8	5.3	0.0	94.7
3年生	71.8	23.1	4.3	0.9	94.9
全体	72.2	23.5	4.1	0.3	95.7



【質問9】普通部からの配布物に目を通していますか。

	4	3	2	1	肯定意見
1年生	78.3	19.6	2.2	0.0	97.9
2年生	60.9	29.3	6.8	3.0	90.2
3年生	69.2	25.6	4.3	0.9	94.8
全体	69.6	24.7	4.4	1.3	94.3



2022年度は、コロナ禍の影響がほとんどなくなり、林間学校、海浜学校、スキー学校、各部の合宿などの宿泊行事を3年ぶりに再開することができ、各種教育活動もほぼコロナ前のレベルに戻すことができた年度であった。

質問1「ご子息を普通部に入学させて良かったと思いますか」については、肯定評価が97.9%とほとんどを占め、否定的な評価は2.1%で、普通部に対して全般的にはよい印象を持っていたとわかっていくことがわかる。

その他のほとんどの質問も「肯定意見」が90%を超えていて、普通部の教育に対しておおむねよい評価となっているが、90%を下回っている質問が二つあり、質問4および質問6であった。質問4は「普通部では、生徒の興味・関心に応じた授業が適切に行われていると思いますか」という質問である。学年ごとの評価をみると、学年が上がるにつれて評価が下がっていることがわかる。授業は生徒の関心に応じてではなく授業進度を優先しているのではないかと、教科によって授業の難易度が高すぎるのではないかと等の意見があり、こういった事柄が影響していると思われる。質問6は「普通部では、部会活動は適切な指導の下で行われていると思いますか」という質問である。活動日を増やしてほしい、コーチなどから技術指導を受けたいという意見があった。普通部では学業優先のため部会活動は週3日までと定めているため、これを増やすことはできないが、コーチを普通部卒業生などから募ることは可能であると考えられる。

その他ご意見をいただいた「保護者証」の実現、家庭への連絡方法の多様化などについても検討し、進めていきたいと考えている。

(文責：森上和哲)